



目指す児童像	し 自然に親しむやさしい子	令和6年6月19日 平戸市立志々伎小学校 文責 校長 山田 泰生 No. 1 1
	じ 自分で学び考える子	
	き 気力・体力を高める子	
	小 将来の夢をめざす子	

志々伎っ子の心を見つめる教育週間開始

志々伎っ子の心を見つめる教育週間を開始しました。この週間は下記の目的で行っています。

- ◎ いのちを輝かせて生きる、心豊かな志々伎っ子の育成を図る。
 - 命を大切に作る心や思いやりの心の育成
 - あこがれや将来への志の育成
 - あいさつやマナーの向上

6月17日(月)に集会室にて、校長講話を行いました。その中で、難病にかかった子の生き方や周りの人の関わりを紹介し、生き方や人の役に立つことを考えさせながら話を進めました。そして、全ての人が「生きているだけで人の役に立っている」ことを伝えました。今後生きていく上でつらいことがあったときは、この話を思い出してほしいという願いを込めて、校長講話を終えました。

午後には、津吉小学校へ移動し、劇団たんぽぽの「あやうし!ズッコケ探険隊」を観劇しました。70分の長い劇でしたが、あっという間に終わりました。子どもたちも「面白かった」「楽しかった」と言っていました。このような本物を子どもたちに経験させることができ、素晴らしい取組だと思いました。平戸市に感謝です。

「子どもへのメッセージ (目指す子ども像)」の共有について

「大人たちからみなさんへ、メッセージを送ります」
「子どもへのメッセージ」

「あの人のようになりたい」「あの人のような生き方がしたい」
 私たちは、長崎県の子どもたちに、
「いつも心に夢や憧れ・志を抱き、未来に向かってがんばっています！」
 と胸を張って言える人であってほしいと願っています。

「夢・憧れ・志をもってがんばる長崎っ子」は、

- 一 自分から進んであいさつをします。
- 二 年上を敬い、感謝の気持ちを大切にします。
- 三 家族や地域、周囲の役に立つことを進んで行います。
- 四 人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと述べます。
- 五 自分で決めたことに責任をもち、ねばり強く取り組みます。

長崎県教育委員会では、学校・家庭・地域が、「目指す子ども像」を共有し、社会総がかりで育むために、左記のメッセージを発信しております。御紹介しますので、各御家庭でも話題にあげ、御活用くださると嬉しいです。